

入院診療計画書

病棟：  
  
様

治療方針： 腹膜透析関連腹膜炎 ver.1

年 月 日  
特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無

推定される入院期間： 4～14日間

主治医： 担当看護師： 患者様サイン欄： ご家族サイン欄：

	入院日～退院日まで
達成目標	<div>・腹痛等の症状があればそれを伝えることができる</div> <div>・排液の性状を観察し、記録ができる、またそれを伝えることができる</div> <div>・手技の再確認を行い、腹膜炎の再発予防に努めることができる</div>
安静度 リハビリ 退院	症状に応じて病院内フリーです。 
食事	たんぱく質調整食( ) カロリー( )kcal/日、塩分5-6g/日、タンパク( )g/日、カリウム( )mg/日です。 飲水制限1000ml/日に制限します。
注射・薬剤	抗生剤加療を開始します。
検査	入院に伴い各種検査を実施します。血液検査、胸腹部レントゲン、心電図、排液検査等。 その他必要に応じて適宜行います。
処置	腹膜透析を継続します。透析液に抗生剤を加え抗生剤の腹腔内貯留も行います。 APDの方は腹膜炎加療中一時的にCAPDに変更することがあります。
清潔 (シャワー・入浴など)	症状に応じて医師の判断でシャワー・入浴可です。 
排泄	症状に応じてトイレにて自由です。 
患者様及び ご家族への説明	まずは抗生剤にて腹膜炎の加療を行います。状況次第でカテーテル抜去術を検討することがあります。 また、入院中手技の再確認を行い腹膜炎再発予防を行います。

注1) 病名及び治療内容等は、入院時に考えられるものですので、検査・治療を進めていくにしたがい変更することがあります。  
注2) 入院期間、表記の日時については入院時での予定です。

板橋中央総合病院